

令和5年秋の褒章において 当社社員が「黄綬褒章」を受章

ヤマザキマザックグループ(本社:愛知県丹羽郡大口町)に勤務する 高木 信男(たかぎ のぶお)が、令和5年秋の褒章において「黄綬褒章」を受章しました。

「黄綬褒章」は農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する個人に対して与えられる褒章です。

高木社員は1984年に入社後、金属熱処理・材料試験業務に30年以上にわたり従事してきました。現在は、主軸の一貫生産をになう工場において、主軸部品の熱処理業務を担当しています。金属の耐久性を高める技法の一つである「高濃度浸炭焼入」を用いた主軸部品の熱処理方法を確立し、工作機械の長寿命化・熱処理の高効率化に貢献したことなどが評価され、今回の選出となりました。

ヤマザキマザックグループで「黄綬褒章」を受けた社員は、今回の受章で累計10名となりました。

今後も当社は高度な技能を有する人材の育成に努め、高性能な工作機械の提供を通して世界のものづくりの発展に貢献していきます。